

事務事業名	可燃ごみ焼却処理事業	事業期間	2001 ~	年度	係内番号	01
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策番号	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	高
		基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
		基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
		実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		

予算事業名	塵芥処理費一般経費	会計コード	01	款	04	項	02	目	02	事業	02
-------	-----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 茅野市、富士見町、原村の可燃ごみを共同処理するため、諏訪南行政事務組合で諏訪南清掃センターを設置・運営している。可燃ごみの収集及びセンターまでの運搬は構成市町村が行い、諏訪南清掃センターでは搬入された可燃ごみを焼却処理し、その焼却灰を茅野市最終処分場及び南諏衛生施設組合最終処分場に運搬する。予算は市の一般経費及び諏訪南行政事務組合が行う清掃センターの運営経費やリサイクルセンター設置（2021年度稼働予定）や最終処分場整備（2020年度より事業化予定）の負担金

現状と背景
 (どうして)
 平成9年度に一般廃棄物焼却施設のダイオキシン類排出量が全国排出量の約61.5%に達する状況となり、ダイオキシン類規制法(平成11年7月16日制定)が施行された。これにより、南諏衛生施設組合(富士見町、原村)で使用していた焼却場は基準をクリアできなくなり、3市町村の可燃ごみの広域処理を諏訪南清掃センターで開始した。

目的
 受益者
 (誰のために)
 茅野市、富士見町、原村の一般家庭住民及び可燃性一般廃棄物を排出する事業者

対象
 (直接働きかける)
 茅野市、富士見町、原村の3市町村

意図
 (どんな状態にしたいか)
 茅野市、富士見町、原村から排出されるすべての可燃性一般廃棄物を適正に処理する。

手段・方法
 (どうやって)
 計画的な点検修理を実施して焼却プラントの処理能力を維持し、計画する年間稼働日数内において、搬入される可燃ごみのすべてを焼却処理する。
 リサイクルセンターの建設については、2019年度に造成工事を行い本体工事も着手し2021年度稼働開始を目指す。最終処分場の整備については、自区内処理を基本方針とし、2020年度に施設整備の基本設計の着手を目指す。ごみ減量化の取り組みとして、2019年度に雑紙回収袋を作成し、イベントや会議、施設見学の小学生に袋を配布し雑紙の分別推進に取り組む。また、リサイクルセンター稼働時に硬質プラスチックを可燃ごみから資源物へ切替を行う。

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	プラントの処理能力を維持するための計画的な点検	点検回数	回	点検マニュアルに定められた回数	12
		2	季節変動するごみ量に対応した計画運転	施設稼働日数	日	「施設稼働日数」=310日/年	310
		3					
変更履歴							

評価指標の作成	成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
		1	搬入されるすべての可燃ごみの処理	年間ごみ焼却量	トン	年間ごみ焼却処理量	14,787
		2					
		変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	事業費等(a)	円	223,354,697	302,463,000			
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	148,000	1,155,000			
	一般財源	円	223,206,697	301,308,000			
活動指標	点検回数	目標	回	12	12		
		実績	回	12			
		達成率	%	100.00	-	-	-
	施設稼働日数	目標	日	310	310		
		実績	日	310			
		達成率	%	100.00	-	-	-
-	目標	-					
	実績	-					
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	年間ごみ焼却量	目標	トン	14,787	14,787		
		実績	トン	16,431			
	達成率	%	89.99	-	-	-	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	可燃ごみ焼却処理事業	事業期間	2001 ~	年度	係内番号	01
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	目標値は2020年度のごみ焼却量となっている。ごみ焼却実績量は、搬入剪定木のウッドチップ化、木製家具類の資源化により前年比で約500トン減少した。				
	総合評価	計画どおり施設の点検を行った結果、休止することなく施設が稼働され、適正なごみ処理を実施することができた。				
	課題	目標値は2020年度のごみ焼却量のため、2018年度実績の減少量の2年度分では目標値に達成しないため、更なるごみ減量化に向けた取り組みが必要である。				
	改革・改善の方向性(ACIT) 及び内容	ごみの焼却量は減少傾向であり、低コストによる雑紙回収袋の作成行い、雑紙の分別を推進し更なるごみ減量化に取り組む。				

作成担当者	守屋正弘				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	可燃ごみ収集事業	事業期間	1974 ~	年度	係内番号	02
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策 番号	03	基本 計画 体系	項目	計画CD	計画名称	施策の 柱CD	施策の柱の名称	実行計画 の施策の 柱におけ る指標と の関連度	中
			基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		

予 算 事 業 名	可燃ごみ収集事業	会計コード	01	款	04	項	02	目	02	事業	03
-----------	----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
(簡潔にわかりやすく)
可燃性家庭ごみを委託収集業務により、効率的なごみ処理を行う。
公共施設については直営で収集する。

現状と背景
(どうして)
家庭ごみの処理は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づく自治事務である。市民それぞれが処理施設に直接ごみを搬入する方法も選択肢としてあるが、可燃ごみは家庭生活の営みによって日々発生するごみであることから非効率で現実的でないため、市が収集する方法を採用している。全国自治体においても同様の状況である。

目的
対象
受益者 (誰のために)
市民
対象 (直接働きかける)
市民及び収集業者
意図 (どんな状態にしたいか)
速やかに可燃性一般廃棄物の収集運搬を行う。

手段・方法
(どうやって)
・地域住民が共同して設置するごみステーションに搬出された可燃性家庭ごみを、週二回その曜日を定め、朝8時30分から収集を開始し、できるだけ早い時間帯に完了させる。収集車を市内5コースに配分し、3業者への委託業務である。
各ステーションから収集した可燃性家庭ごみは、中間処理施設である諏訪南清掃センターに搬入する。
・市民への分別指導講習会・家庭版ごみの出し方のチラシやパンフレットによる市民への周知及び収集業者への業務指示を行い円滑な業務を行う。

評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
活動指標	1	可燃ごみの収集サービス	可燃性家庭ごみの収集回数	回/週	週2回、決められた日に収集する。	2
	2	可燃ごみの分別講習会	地区別分別講習会	回/年	年間の講習会の開催回数	10
	3					

成果指標	成果・効果は何？	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
成果指標	1	市民の可燃ごみ収集に関する問い合わせ	苦情の非発生率	%	(1 - 苦情のあった日数 / 年間収集日数) × 100	100
	2					

実 施 状 況	項 目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
財 源 内 訳	事業費等(a)	円	74,432,401	74,620,000			
	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	4,009,000	4,009,000			
	一般財源	円	70,423,401	70,611,000			
活 動 指 標	可燃性家庭ごみの収集回数	目標	回/週	2	2		
		実績	回/週	2			
	達成率	%	100.00	-	-	-	
	地区別分別講習会	目標	回/年	10	10		
		実績	回/年	5			
	達成率	%	50.00	-	-	-	
-	目標	-					
	実績	-					
達成率	%	-	-	-	-		
成 果 指 標	苦情の非発生率	目標	%	100	100		
		実績	%	99			
	達成率	%	99.30	-	-	-	
	-	目標	-				
実績		-					
達成率	%	-	-	-	-		
備 考							

事務事業名	可燃ごみ収集事業	事業期間	1974 ~	年度	係内番号	02
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	課長評価日	コスト				

事業 後 評価 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	成果要因分析	苦情内容は、ごみ収集時間の遅れの問い合わせの3件、いずれも連休明けのごみ搬出量が多かったことが要因。				
	総合評価	市内全ステーションのごみ収集が適正に行われた。また、年に3回展開検査をおこない許可業者へ適正なごみ搬入を指導した。				
	課題	適正なごみ収集を継続的に行うため、市民への周知及び委託業者への指示を行っていく。				
	改革・改善の方向性(ACIT)策び内容	現状維持 現状維持 適正なごみの出し方を市民へ周知し、市民生活と直結するごみの収集サービスを維持していく。				

作成担当者	守屋正弘				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	不燃物処理事業	事業期間	1980 ~	年度	係内番号	03
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策 番号	03	基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中						
		基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進								
		実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業								
		項目	計画CD	計画名称	施策の柱ID	施策の柱の名称								
予 算 事 業 名	不燃物処理事業				会計コード	01	款	04	項	02	目	02	事業	04
事務事業の概要 (簡潔にわかりやすく)	不燃性一般廃棄物の中間処理施設である茅野市不燃物処理場の機能を、常に正常に稼働できる状態に維持し、市民が排出する不燃性一般廃棄物(資源物を除く。)、粗大ごみ(自転車、ブリキ類、廃家電類)を適正に処理する。													
現 状 と 背 景 (どうして)	茅野市不燃物処理場は昭和55年度の建設であり、すでに40年近くを経過して老朽化が顕著であるため、家庭生活から排出される不燃ごみ、粗大ごみの処理に支障を生じないようにする必要がある。													
目 的	受 益 者 (誰のために)	市民												
	対 象 (直接働きかける)	不燃ごみ、不燃性粗大ごみ及び資源物の中間処理並びに保管施設である不燃物処理場の機械設備等												
	意 図 (どんな状態にしたいか)	機械設備等が正常に稼働し、不燃性一般廃棄物や資源物の処理に支障を生じない施設運転を維持し、適正処理を行う。												
手 段 ・ 方 法 (どうやって)	老朽化が進んでいる施設ではあるが、機器類の点検整備、予防修繕を計画的に行う事により施設の延命を図り、不燃物の処理や外部処理業者に委託することにより適正処理する。													
	評 価 指 標 の 作 成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値							
機械設備点検		点検回数	回	年間の点検回数	24									
機械設備補修を行う件数		機械設備の補修件数	箇所	年間に機械設備の補修を行なう件数の合計	4									
処理ルート確立		処理ルート確立率	%	適正処理委託契約ルート件数÷必要な契約ルート件数×100	100									
成果指標	成果・効果は何？	指 標 名 称	単 位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値									
1	正常に運転した日	運転日数	日	運転日数-故障により停止した日数	310									
2														
変更履歴														

実 施 状 況	項 目	単 位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
	事業費等(a)	円	11,399,937	13,463,000				
	財源内訳	円						
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	940,992	737,000				
	一般財源	円	10,458,945	12,726,000				
	活動指標	点検回数	目標	回	24	24		
			実績	回	24			
達成率			%	100.00	-	-	-	
機械設備の補修件数		目標	箇所	4	4			
		実績	箇所	2				
		達成率	%	50.00	-	-	-	
処理ルート確立率	目標	%	100	100				
	実績	%	100					
	達成率	%	100.00	-	-	-		
成果指標	運転日数	目標	日	310	310			
		実績	日	310				
	達成率	%	100.00	-	-	-		
	-	目標	-					
実績	-							
達成率	%	-	-	-	-			
備 考	・事業費の中には、不燃物処理場土地賃借料4,059,300円、最終処分場用地賃借料1,500,000円等を含む。							

事務事業名	不燃物処理事業	事業期間	1980 ~	年度	係内番号	03
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	課長評価日	コスト				

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変異動指標要因分析	定期的に機械設備の点検を行ったことにより、機械設備が正常に運転され、目標どおりの稼働日数が達成された。				
	総合評価	定期的に機械設備の点検を行ったことにより、機械設備修繕を抑えることができた。また、搬入された不燃物について全量適正に委託処理することができた。				
	課題	老朽化が著しい施設のため、定期的な機械設備の点検及び適正な修繕を行う必要がある。				
	改革・改善の方向性(ACIT)策び内容	<p>現状維持</p> <p>現状維持</p> <p>搬入された不燃物を引き続き全量適正に委託処理する。2021年度の諏訪南リサイクルセンターへの業務移管までは現状を維持していく。</p>				

作成担当者	守屋正弘				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	最終処分場管理事業	事業期間	1976 ~	年度	係内番号	04
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策番号	03	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		

予算事業名	最終処分場管理事業	会計コード	01	款	04	項	02	目	02	事業	05
-------	-----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 焼却灰及び資源化できない一般廃棄物を埋立処分する茅野市最終処分場を適正な状態に維持管理する。

現状と背景
 (どうして)
 ごみ焼却施設から排出される焼却灰及び不燃物処理場からの破碎残渣は最終処分場に埋立処分している。このため、最終処分場を法律等に定められた基準に従って維持管理し、適正な一般廃棄物処理を確保するものである。

目的
 受益者 (誰のために) 一般廃棄物を排出する市民
 対象 (直接働きかける) 一般廃棄物の焼却灰及び資源化できないものを埋立処分するための最終処分場
 意図 (どんな状態にしたいか) 法令等に定められた基準に適合する状態を維持し、適正な一般廃棄物処理体制の保持を図る。

手段・方法
 (どうやって)
 焼却灰等埋立物の転圧作業のほか、遮水シート等の施設補修工事、老朽機器等の設備交換、草刈り等の環境整備、水質検査等の環境測定の実施

評価指標の作成	活動指標	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
		維持管理基準に伴う点検	点検回数	回	年間の点検回数	12
		最終処分場の水質検査	水質検査の箇所数	箇所	年間の水質検査箇所数	4
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	適正な状態での稼働日数	適正稼働日数/年	日	処理基準に適合した日数	365
	2					
	変更履歴					

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
			事業費等(a)	円	3,129,955	3,857,000	
財源内訳	国庫支出金	円					
	県支出金	円					
	地方債	円					
	その他特定財源	円	2,239,000	1,891,000			
	一般財源	円	890,955	1,966,000			
活動指標	点検回数	目標	回	12	12		
		実績		12			
		達成率	%	100.00	-	-	-
	水質検査の箇所数	目標	箇所	4	4		
		実績		4			
		達成率	%	100.00	-	-	-
-	目標	-					
	実績						
	達成率	%	-	-	-	-	
成果指標	適正稼働日数/年	目標	日	365	365		
		実績		365			
		達成率	%	100.00	-	-	-
	-	目標	-				
実績							
達成率	%	-	-	-	-		
備考							

事務事業名	最終処分場管理事業		事業期間	1976 ~	年度	係内番号	04
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係		連絡先	380	

事業 評価	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変異動指標要因分析	施設の定期的な点検及び水質検査を行ったことにより、目標どおりの稼働稼働日数が達成された。				
	成果	目標どおりの施設の点検及び水質検査の実施により、近隣住民等からの苦情もなく適正に施設を稼働することができた。				
	総合評価	適正に施設を稼働させるため、継続的に施設の定期点検及び水質検査を行う必要がある。				
	課題					
改革・改善の方向性(ACIT)	翌年度方向性	成果 現状維持				
	コスト	現状維持				
改革・改善の方向性の内容	焼却灰及び資源化できない一般廃棄物を埋立処分する特殊施設のため、引き続き適正な状態で維持管理する必要がある。					

作成担当者	守屋正弘				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				

事務事業名	不法投棄対策事業	事業期間	1983 ~	年度	係内番号	06
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

政策番号	03	基本計画体系	項目	計画CD	計画名称	施策の柱CD	施策の柱の名称	実行計画の施策の柱における指標との関連度	中
			基本計画①	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			基本計画②	01	環境基本計画	0401	循環型まちづくりの推進		
			実行計画	02	一般廃棄物（ごみ）処理基本計画	0000	複数の柱にまたがる事業		

予算事業名	不法投棄対策事業費	会計コード	01	款	04	項	02	目	02	事業	07
-------	-----------	-------	----	---	----	---	----	---	----	----	----

事務事業の概要
 (簡潔にわかりやすく)
 市内の公共の場所における自転車の放置の防止を図るとともに、不法投棄発生防止のため、啓発活動及び環境パトロール等を実施する。

現状と背景
 (どうして)
 不法投棄は市民の日常生活を脅かし、良好な環境を破壊する犯罪行為である。しかし、行為者の罪の意識が薄く、後を絶たないのが現状である。また、駅周辺に放置される自転車等も多いため、市民生活の快適な環境を確保することが必要である。

目的
 受益者 (誰のために)
 市民
 対象 (直接働きかける)
 自転車等を放置した者、及び不法投棄の行為者
 環境美化活動を推進する者
 意図 (どんな状態にしたいか)
 自転車等の放置を含め、不法投棄をしない社会を形成する。

手段・方法
 (どうやって)
 ・不法投棄監視の環境パトロールの実施及び駅周辺の巡回パトロールを実施する。
 ・広報ちの、市ホームページ等による不法投棄防止の啓発。
 ・環境自治会、行政区、事業者及び環境団体による市内一斉の環境美化活動支援。

評価指標の作成	行政が活動することで作り出すもの	指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値	
活動指標	パトロール	パトロール回数	回	環境パトロール120回+巡回パトロール50回の実施	170	
	防止啓発	啓発広報	回	実施回数	3	
	市内一斉清掃	クリーンウォーク・一斉清掃	回	実施回数	3	
成果指標	成果・効果は何？		指標名称	単位	算出方法・計算式・目標値設定の考え方など	最終目標値
	1	清掃活動参加者への環境美化啓発	清掃活動参加人数	人	一斉清掃+クリーンウォーク+アダプトプログラム参加人数	20,000
	2					
変更履歴						

実施状況	項目	単位	2018年度(H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
財源内訳	事業費等(a)	円	1,237,658	1,225,000				
	国庫支出金	円						
	県支出金	円						
	地方債	円						
	その他特定財源	円	1,000	3,000				
活動指標	パトロール回数	目標	回	170	170			
		実績	回	185				
		達成率	%	108.82	-	-	-	
	啓発広報	目標	回	3	3			
		実績	回	3				
		達成率	%	100.00	-	-	-	
	クリーンウォーク・一斉清掃	目標	回	3	3			
		実績	回	3				
		達成率	%	100.00	-	-	-	
	成果指標	清掃活動参加人数	目標	人	20,000	20,000		
			実績	人	13,657			
			達成率	%	68.29	-	-	-
-		目標	-					
	実績	-						
	達成率	%	-	-	-	-		
備考								

事務事業名	不法投棄対策事業	事業期間	1983 ~	年度	係内番号	06
担当部署	市民環境部	美サイクルセンター	業務係	連絡先	380	

事業 評価 価値	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	当年度開始後、約5ヶ月が経過し、新たに生じた問題点や環境の変化					
	新年度の実施計画・予算要求事項(改革・改善策)					
	翌年度方向性	成果				
	コスト					
課長評価日						

事業 後 評価 価値 (CHECK)	項目	2018年度 (H30)	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
	～成果変果動指要標因分～析	夏のクリーンウォーク延期の影響により、清掃活動参加者数が目標値より大幅に低い数値となった。				
	成果	目標値を上回るパトロールを行ったことにより、大規模な不法投棄の発生は抑制されている。				
	総合評価	不法投棄、ごみのポイ捨てについて、常習場所では後を絶たない状況となっている。				
	課題					
改革・改善の方向性(ACIT)	翌年度方向性	成果 現状維持 コスト 現状維持				
	改革の方向性の内容	不法投棄防止の啓発及び監視活動として、クリーンウォーク・斉清掃及びパトロールの回数は現状を維持し、クリーンウォーク・斉清掃の参加者人数を増加させ、環境美化への関心を持ってもらい不法投棄防止へつなげていく。また、常習ヶ所への看板設置、国道の待避所への不法投棄防止柵の設置要望を行い、ハード面での防止策を講じていく。				

作成担当者	守屋正弘				
最終評価責任者	保科慎一				
最終評価年月日	2019年5月17日				